

高等教育機関

大学

国公立

金沢大学
北陸先端科学技術大学院大学
石川県立看護大学
石川県立大学
金沢美術工芸大学

私立

金沢工業大学 金沢学院大学
金沢星稜大学 金城大学
金沢医科大学 北陸学院大学
北陸大学

短期大学

私立

金沢星稜大学女子短期大学部
金沢学院短期大学
金城大学短期大学部
北陸学院大学短期大学部
小松短期大学

高等専門学校

国立

石川工業高等専門学校

私立

金沢工業高等専門学校

その他

放送大学石川学習センター

地方自治体

石川県	珠洲市	能美市	志賀町
金沢市	加賀市	野々市市	宝達志水町
七尾市	羽咋市	川北町	中能登町
小松市	かほく市	津幡町	穴水町
輪島市	白山市	内灘町	能登町

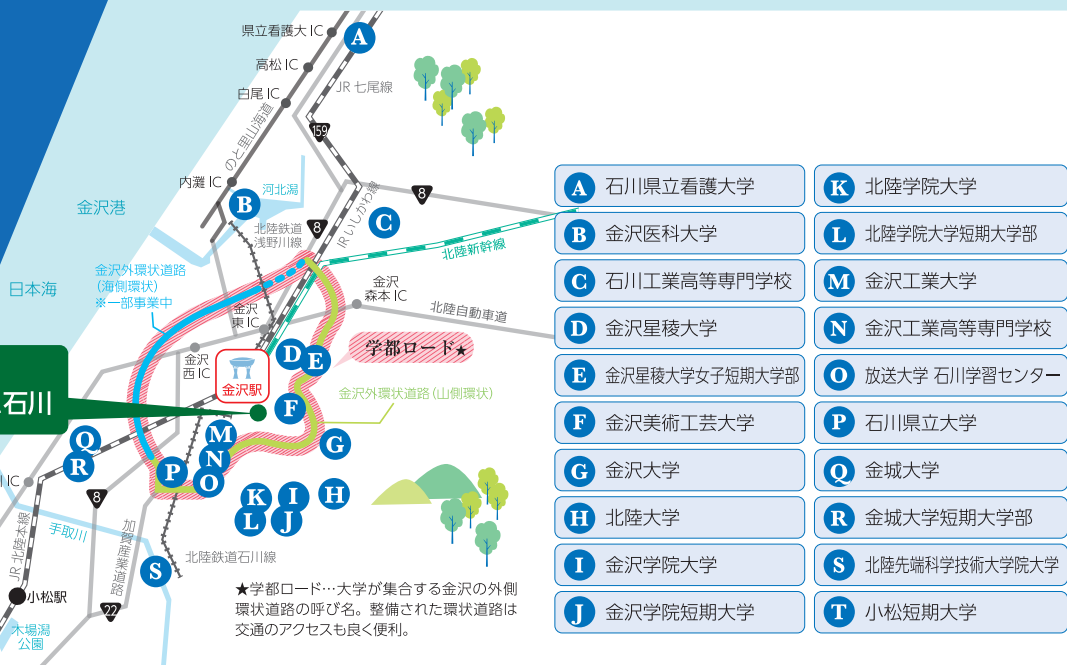
関係団体

石川県商工会議所連合会	(一社)石川県繊維協会
石川県商工会連合会	(一社)石川県食品協会
(一社)石川県経営者協会	(一社)石川県情報システム工業会
石川県中小企業団体中央会	石川県酒造組合連合会
(一社)金沢経済同友会	(公社)金沢青年会議所
(一社)石川県鉄工機電協会	

国際機関

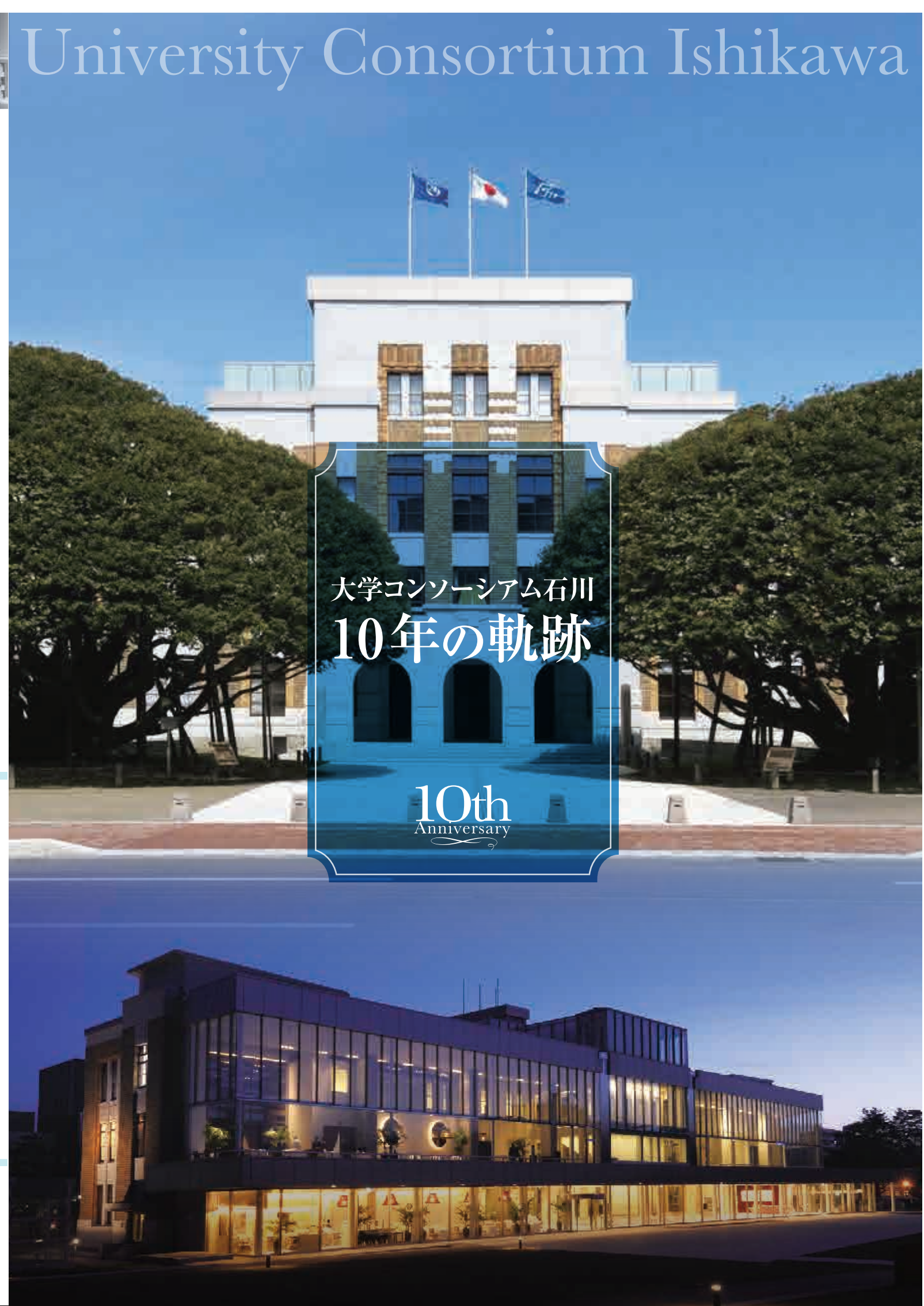
国際連合大学サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

ISHIKAWA
いしかわの大学マップ
CAMPUS MAP



大学コンソーシアム石川
10年の軌跡

10th
Anniversary



ご挨拶・祝辞



公益社団法人
大学コンソーシアム石川
会長 山崎 光悦

大学コンソーシアム石川は、平成18年4月に設立され、今年度で10年目を迎えることとなりました。

ご承知のように、大学コンソーシアム石川の使命は、石川県内20の高等教育機関が国・公・私立といった枠組みや大学・短大・高専といった種類を超え、互いに連携・協力しながら様々な問題を克服し、分野の枠を超えた幅広い知識と視野を持つ優れた人材を一人でも多く石川から輩出し、併せて高等教育機関と自治体・産業界等との連携を深め、人材育成を通して地域の活性化に資することです。

設立以来、一貫して共同教育事業を中心に、情報発信や地域連携、高等教育機関間交流に力を注いで参りました。近年では、平成26年度より、「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」がスタートし、各種フィールドワーク、海外インターンシップ、県内企業への就職に繋がる交流会を実施しています。平成27年度には協賛企業からの寄附金の支援を受け、石川県と連名で日本学生支援機構へ申請していた「官民協働海外留学支援制度～トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム～地域人材コース」に採択され、平成28年度前期で7名、後期で9名の学生を海外に派遣することとなりました。また、同じく平成27年度より開始した「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」では、当コンソーシアムの8大学が中心となり、石川県をはじめとする全自治体、産業界が一丸となって、卒業生の地元就職率を5年間で10%上昇させる地方創生の取り組みを進めています。

これらのステップを機会に、更なる石川県、北陸地域の発展に邁進して参りますので、皆様方のご指導・ご協力をお願いいたします。



石川県
知事 谷本 正憲

この度、大学コンソーシアム石川が設立10周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

大学コンソーシアム石川は、本県が持つ高等教育機関の集積という強みを活かし、県内の全高等教育機関に加え、主要な経済団体や国際機関、さらには全国で唯一、全ての自治体が参加して平成18年に設立されました。こうした幅広い参画のもと、県内全域から地域課題を吸い上げ、大学の枠を超えて優れた研究やアイデアを地域に還元する取り組み等を進めており、国からも高い評価をいただいています。

地方創生が国・地方を通じた大きな課題となる中、石川の活力向上のためには、優れた人材を育成し、地域への定着を進めることが重要であり、高等教育機関が果たす役割は益々大きくなっています。県としても、地域の活力向上に繋がる取り組みを積極的に行ってまいりますので、皆様におかれましても、大学の「知」と学生の「若い力」を地域の活力向上に繋げていただくことをお願い申し上げます。

最後に、この記念すべき10年を節目として、さらなるご尽力をお願いするとともに、今後、益々の発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



金沢市
市長 山野 之義

この度、大学コンソーシアム石川が創立10周年を迎えられるにあたり、お祝いを申し上げます。

この10年間、国際、政治、経済各方面において、様々な変化がありました。また、都市を取り巻く環境も、北陸新幹線金沢開業など、大きく変化しております。

その中で変わらないことは、石川県そして本市が学術文化都市「学都」であるということです。そして、石川の「知」の拠点を創出し学都を牽引しているのが、大学コンソーシアム石川であり、加盟する高等教育機関です。関係各位のこれまでのご尽力に敬意を表します。

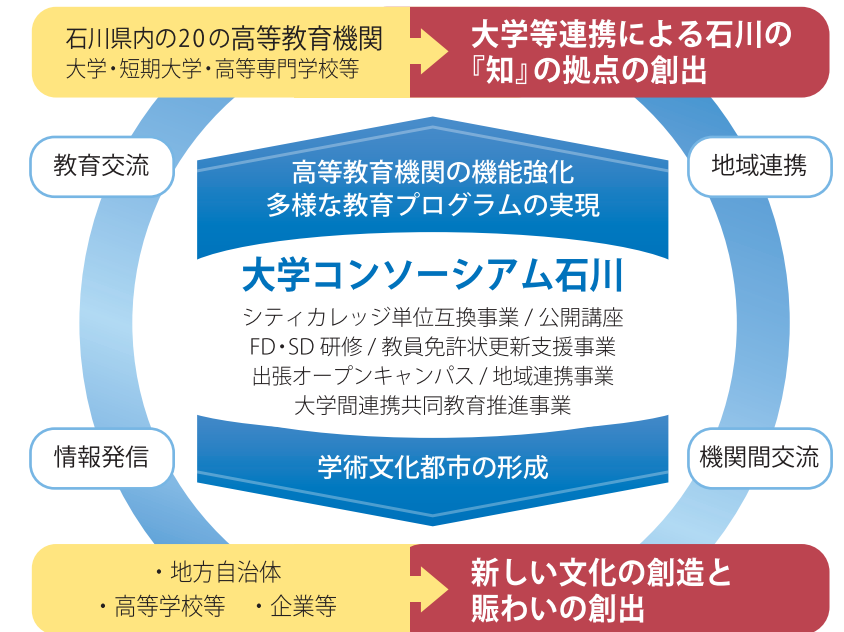
人口あたりの学校数、学生数が全国でも有数を誇る当地において、大学コンソーシアム石川が果たす役割は年々増しており、同時に期待も大きくなっております。

本市としましても、「世界の交流拠点都市金沢」をめざす中で、大学コンソーシアム石川及び高等教育機関との連携を強化することにより、学都としての本市の魅力を一層磨き、活気あふれるまちづくりを実現してまいりますので、今後ご協力を賜りたいと存じます。

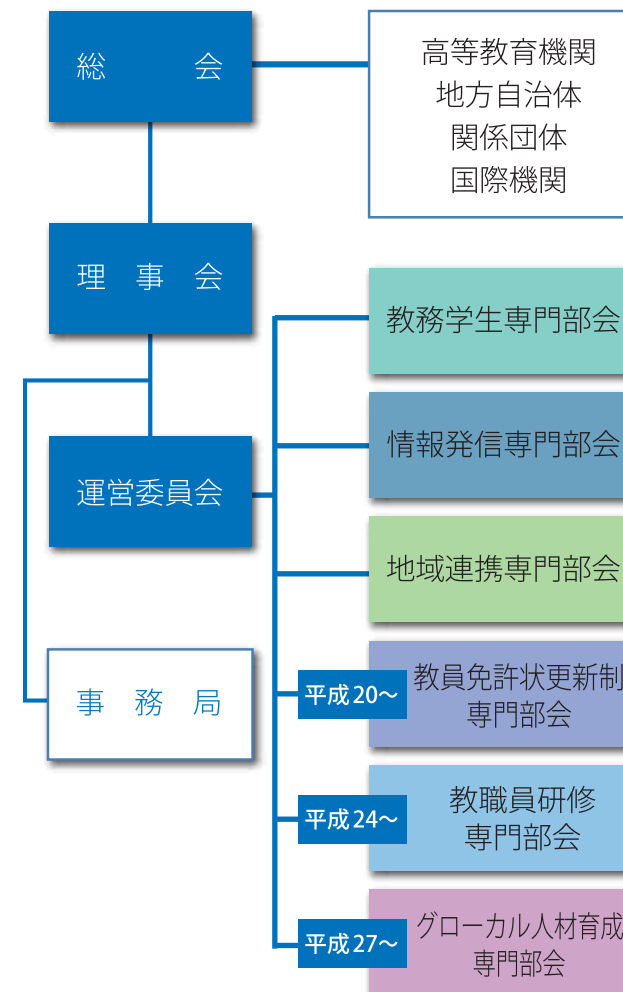
記念すべき10年の節目を契機として、これまで先人が培ってきた文化と歴史を次代に継承し、一層発展されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

概要

大学コンソーシアム石川は、石川県内の高等教育機関相互の連携及び高等教育機関と地域社会との連携を深める役割を担い、これらの連携による教育交流、情報発信、地域連携等を通して高等教育の充実・発展を図るとともにその成果を地域社会に還元し、広く学術・文化・産業の発展に寄与することを目的に設立しました。



組織



沿革

- 平成11年 7月 石川大学連携促進協議会（会長：谷本県知事）設立、石川県高等教育振興室に事務局を設置。
- 平成15年 7月 県内高等教育機関で単位互換包括協定が締結される。
- 平成15年 10月 学生の単位互換や社会人も講義を聴講できる「いしかわシティカレッジ」等を開始する。
- 平成18年 4月 大学コンソーシアム石川が設立、県広坂庁舎内に事務局が設けられ、業務を開始する。
- 平成20年 8月 文部科学省の平成20年度「戦略的学術連携推進事業」に採択される。（代表校：金沢大学）
- 平成22年 4月 事務局・セミナールームが「しいのき迎賓館」に移転する。
- 平成22年 7月 一般社団法人大学コンソーシアム石川に移行。
- 平成24年 10月 平成24年文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」に採択され、取組みを開始する。（代表校：金沢大学）
- 平成25年 2月 「地域づくり総務大臣表彰」受賞。大学コンソーシアム石川の大学・地域連携に対する取組みが高く評価される。
- 平成27年 7月 平成27年度 官民協働海外留学支援制度～トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム～「地域人材コース」に採択される。
- 平成28年 4月 公益社団法人大学コンソーシアム石川に移行。
- 平成28年 8月 10周年記念式典開催

主な継続事業一覧

自主事業 ———— **自主** 石川県・金沢市との連携事業 — **県市連携** 戦略的・大学連携支援事業 — **戦略GP** 石川県中小企業団体中央会との連携事業 — **企業連携**
 石川県補助金事業 — **県補** 石川県委託事業 — **県委** 独立行政法人環境再生保全機構 — **環境再生**

	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
教務学生事業 < 教務学生専門部会 >											
情報発信事業 < 情報発信専門部会 >											
地域連携事業 < 地域連携専門部会 >											
教員免許状更新制に係る事業 < 教員免許状更新制専門部会 >											
教職員研修に係る事業 < 教職員研修専門部会 >											
官民協働海外留学支援に係る事業 < グローカル人材育成専門部会 >											
その他											

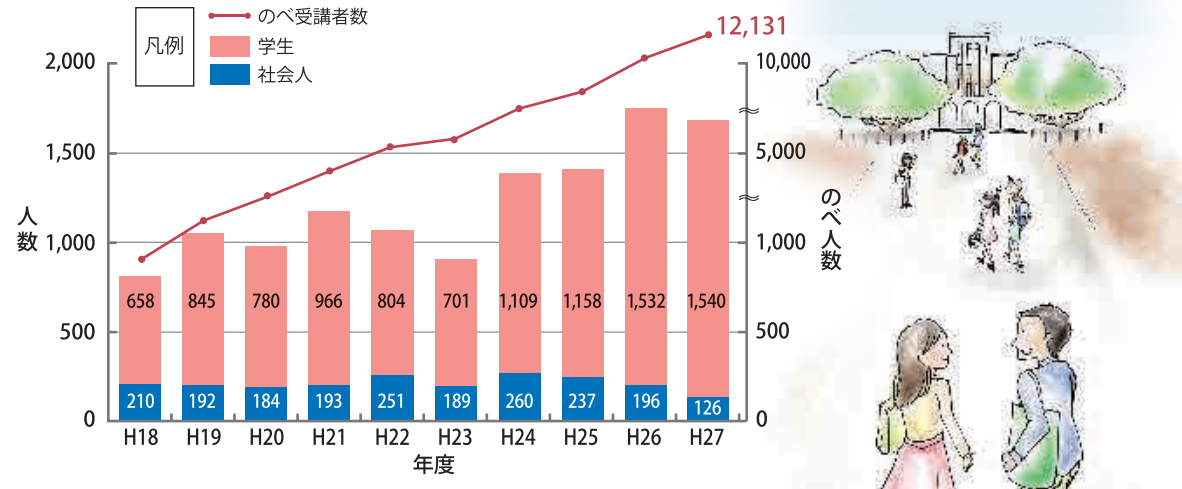
主な事業の推移

自主事業 ———— 自主 石川県委託事業 ———— 県委 戦略的・大学連携支援事業 ———— 戦略GP

**シティカレッジ
単位互換事業**
自主

期間
平成18年度～

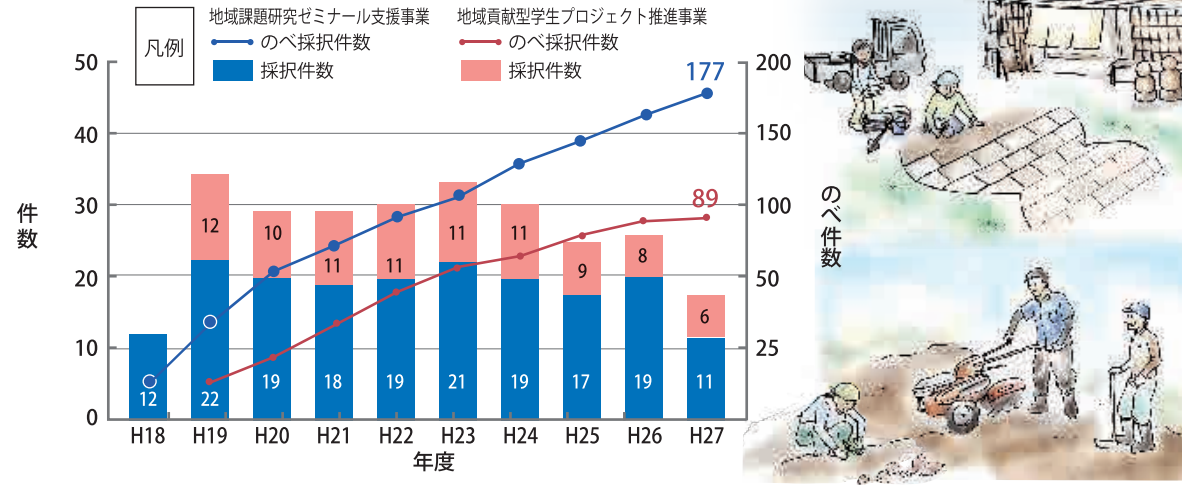
のべ受講者数
12,131名



地域連携事業
県委 戦略GP 自主

期間
平成18年度～

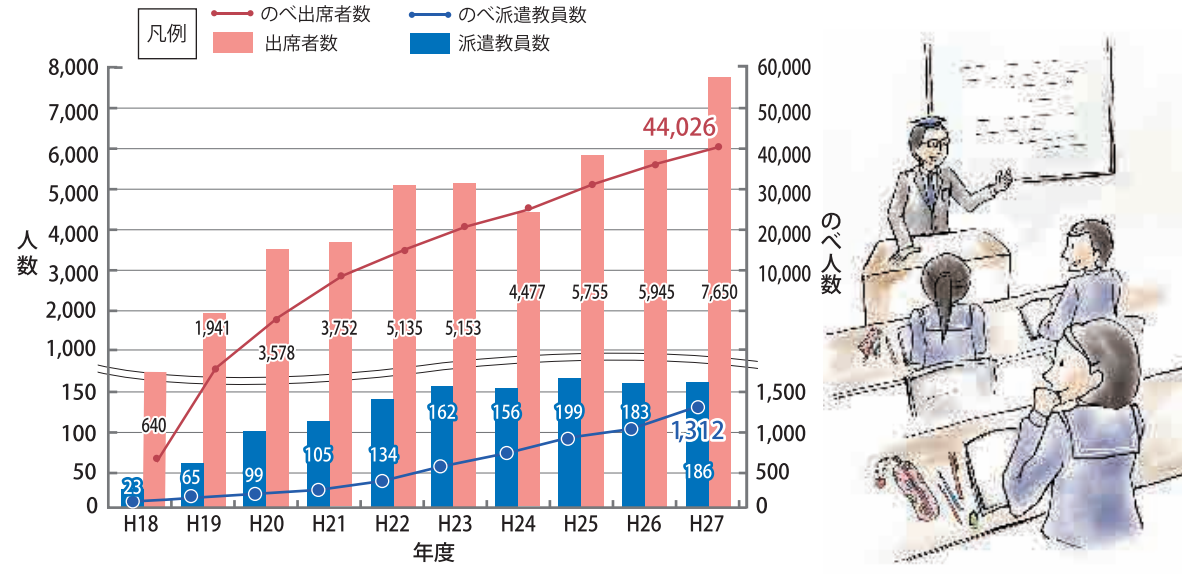
のべ採択件数
177件
地域課題研究ゼミナール支援事業
89件
地域貢献型学生プロジェクト推進事業



**出張オープン
キャンパス事業**
自主

期間
平成18年度～

のべ出席者数
44,026名
のべ派遣教員数
1,312名



歴代の会長・副会長

年度	会長	副会長
H18	金沢大学長 林 勇二郎	金沢工業大学学長 石川 憲一
H19	金沢大学長 林 勇二郎	金沢工業大学学長 石川 憲一
H20	金沢大学長 中村 信一	金沢工業大学学長 石川 憲一
H21	金沢大学長 中村 信一	金沢工業大学学長 石川 憲一
H22	金沢大学長 中村 信一	金沢工業大学学長 石川 憲一
H23	金沢大学長 中村 信一	金沢工業大学学長 石川 憲一
H24	金沢大学長 中村 信一	金沢工業大学学長 石川 憲一
H25	金沢大学長 中村 信一	金沢工業大学学長 石川 憲一
H26	金沢大学長 山崎 光悦	金沢工業大学学長 石川 憲一
H27	金沢大学長 山崎 光悦	金沢工業大学学長 石川 憲一
H28	金沢大学長 山崎 光悦	金沢工業大学学長 大澤 敏

10周年に寄せて



石川県商工会議所連合会
会頭 深山 彬

公益社団法人大学コンソーシアム石川が、このたび設立10周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。
平成11年に設立した「石川大学連携促進協議会」を発展させ、平成18年に高等教育機関が主体性を発揮する大学連合体として設立されて以来、関係各位の並々ならぬご努力により、教育交流、情報発信、地域連携機関間交流等を通じて様々な事業を積極的に展開され、高等教育機関の機能強化はもとより、優れた人材の輩出や地域の振興発展などに大きく寄与しておられますことに、深く敬意を表する次第であります。

当地におきましては、北陸新幹線の金沢開業以来、首都圏をはじめ他地域との交流人口が拡大し、地方創生を推進する上で大きな遠心力となっております。この流れを一過性とすることなく、持続的な成長と発展にするためのキーワードは“人材”への投資に他ならないと確信をいたしております。

このような視点において、大学コンソーシアム石川は、学生と地域が産学官連携を通じた、学都石川の魅力発信や社会的ニーズに応える人材の育成などにより、地元企業と学生の橋渡し役を果たし、石川県の飛躍、発展のために貢献されますことを心より祈念申し上げます。



金沢大学
学長補佐 古畑 徹

私は、平成20年から現在まで、8年にわたって本コンソーシアムの実務に携わってきました。このたび、記念誌WGより最も長く本コンソーシアムにかかわってきた者として、最も印象に残ったことを書いてほしいという依頼を受け、僭越ながら、筆を取らせていただきました。

いま思い起こしても、最も楽しく仕事できたのは、しいのき迎賓館への移転を前にした平成21年度だったように思います。しいのき迎賓館の3階が新たな拠点となることが決まると、県の方からどのような内装にし、どのような設備を整えたらよいかの諮問がありました。私が責任者となっていた戦略GPのメンバーでWGを立ち上げ、その予算の投入も念頭に、県に対してさまざまなアイデアを出させてもらいました。結果としてすべては認められませんでした。セミナールームAを石川県で初めて本格的なアクティブラーニング用教室一台形の可動機・両面スクリーン・卓上式ホワイトボード等にできたことは、非常に大きな成果だったと思います。クリッカーの導入や合同FD・SDの本格スタートもこの年で、本コンソーシアムはここから県内高等教育機関の教育改革を先導する新たな役割を持つことになったわけです。

これからも本コンソーシアムは、教育改革の先導役、大学等と地域ステークホルダーの皆様との結節点、などの役割を果たしてまいりますので、ご支援・ご協力のほど、宜しくお願い致します。